



燕市「読解力」育成プロジェクト通信

読解力を育む授業づくり みんなでやってみよう!

吉田小学校の校内研究会

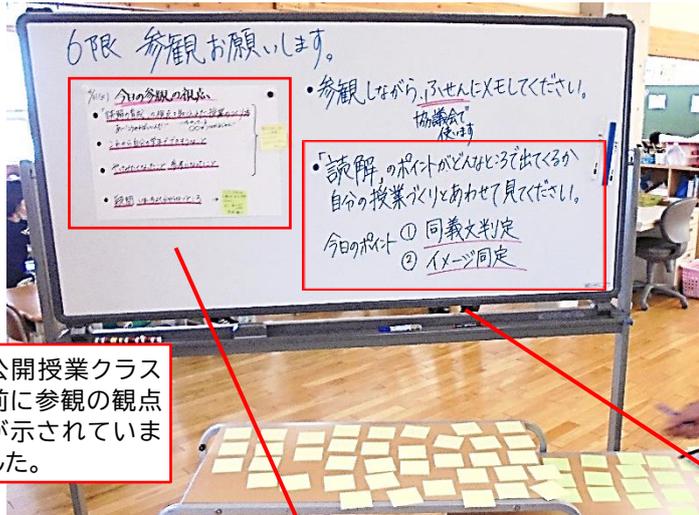
5月31日(火)、吉田小学校の校内研究授業を参観させていただきました。

4年生の「1けたでわるわり算」の授業でした。本時のねらいは「 $72 \div 3$ のひっ算の仕組みを、わられる数を分けて考えたり操作したりした既習の学習とつなげて考える」でした。

子どもたちは、先生が話す問題を「聴写」しました

問題

72枚の色紙を3人で同じ数ずつ分けると、1人分は何枚？



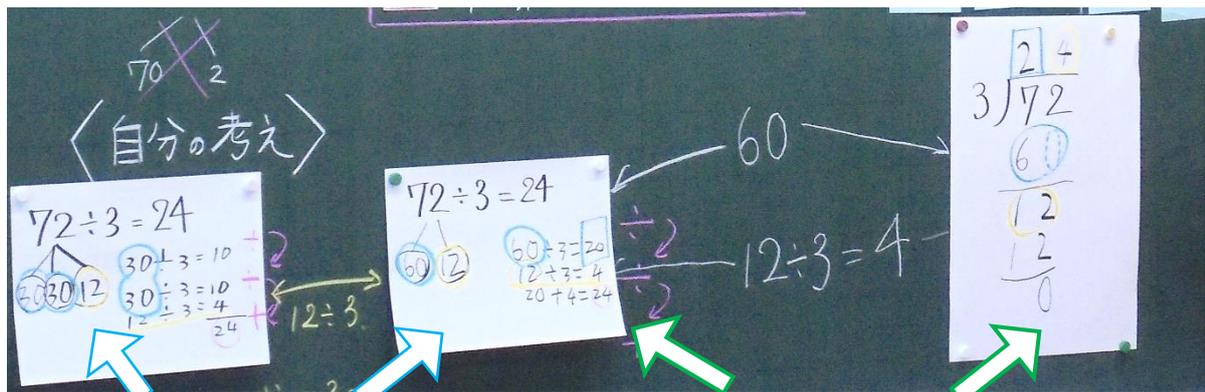
公開授業クラス前に参観の観点が示されていました。

今日の参観の視点

- ・「読解力育成」の視点をとりにれた授業のつくり方
あっ!こうやればいいんだ!! いつもやってる〇〇がつながるじゃん!!
- ・これから自分の学年でできそうなこと
- ・やってみたくなったこと 参考になったこと
- ・疑問 いまいちよく分からないところ

・「読解」のポイントがどんなところで出てくるか自分の授業づくりとあわせて見てください。

- 今日のポイント
- ①同義文判定
 - ②イメージ同定



・「 $72 \div 3$ 」について 72 を 3 で割るために、 $30+30+12$ に分けた A さんと $60+12$ に分けた B さんの考え方は同じとらえてよいか？

サランボ計算とひっ算の同じところはどこか？
・2つの方法の「同じところ探し」をしてみよう

上記2つの比較(同義文判定)を、「色紙の束」を操作しながら(イメージ同定)、児童自身が説明し、みんなが納得することができました。



学校全体で「やってみよう」「みんなで考えてみよう」という雰囲気を感じられる公開授業と協議会でした。

教科指導プロフェッショナル研修

教科指導のプロをお招きしての授業力向上をねらいとした研修会です。昨年度は計画した全5回がオンラインに変更となりましたが、今年度は念願の対面式でスタートしています！

第1回 谷内卓生 先生(上越教育大学)
物語・小説の授業で育てる読解力
 ～先生、場面や登場人物って何ですか？～



【参加者感想】

・物語文の指導の仕方について、具体的に教えていただき、系統的に指導していくこと、言葉にこだわって読み深めること、作品のメッセージを考えること、など、実感をもってとることができました。コロナ禍によりこのような研修の場がなかったので、こういう対面の研修のよさを改めて感じるとともに、ぜひもっと多くの先生方が参加できると思います。

・楽しく模擬授業を受けながら、指導の方法について学ぶことができ、大変勉強になりました。教えるべき内容を明確にしてくださったのでとても分かりやすかったです。人物や場面の定義も確認することができ、自分がこれまで曖昧にしていたことを痛感しました。今後は、今回の研修を生かして授業をしていきたいです。

谷内先生のサークル「読みの会パステル」を紹介します
 月1回の開催で、オンラインで参加できます。気軽に情報交換、質問ができます。
 興味のある方は谷内先生にメールでお問い合わせを。E-mail:ttakuo@juen.ac.jp



第2回 中野博幸 先生(上越教育大学)
ICTを活用した算数・数学の授業改善
 ～批判的思考・読解力の育成～



中野教授の説明に集中！タブレット画面に集中！

【参加者感想】

・授業の中で、画面に流れる車を集中して数える姿が印象的でした。Chromebook を使ってデータを集約するだけでなく、そこから何がわかるのか批判的に、多面的に考えることが大切だと学びました。作る統計と読む統計という側面を意識しながら授業作りに努めていきたいです。

・今年度燕市に異動したばかりで、燕市の目指す読解力についての理解が不十分でした。算数でどのように読解力をつけていけばよいのかわからなかったのですが、中野先生の授業がよいヒントになりました。今回の授業では、google-workspace や Scratch を有効活用していました。Scratch に関する研修があれば、ぜひ参加したいです。

今後、予定している教科指導プロフェッショナル研修は下記のとおりです。参加申込はまだ可能です！

数学	藤原大樹 先生 (お茶の水女子大学附属中学校)	7/1(金)	会場:吉田中学校
英語	阿野幸一 先生 (文教大学 国際学部 国際理解学科)(大学院 国際学研究科)	7/8(金)	会場:燕北中学校
理科	鍋木良夫 先生 (NPO 法人授業高度化支援センター)	7/11(月)	会場:燕中学校